

人と音を結び  
Classic Nagoya  
**クラシック名古屋**  
〒460-0024  
名古屋市中区正木四丁目8番7号れんが橋1F  
TEL(052)678-5310 FAX(052)678-5330  
https://clanago.com

プレイガイド  
**アイチケット**  
☎0570-00-5310



# ナゴヤ劇場ジャーナル

◆発行/マネージメント・プロ ◆編集/プランニングオフィス白壁 ◆協賛/クラシック名古屋

**MP MANAGEMENT PRO**  
①舞台イベントの企画制作・マネージメント  
②芸術コンサルティング  
③タレントのマネージメント  
④ナゴヤ劇場ジャーナルの発行

株式会社 マネージメント・プロ  
〒461-0004 名古屋市中区葵2-11-22 アバンテージビル301  
TEL: 052-508-5095 FAX: 052-508-5097  
E-mail: mane-pro@mane-pro.com  
HP: http://www.mane-pro.com



## 異界↔現世、目を見張る舞台美術



劇団四季「バケモノの子」好評上演中

奇抜なクライマックスに仰天!

劇団四季のミュージカル「バケモノの子」が名古屋四季劇場で快調な公演を続けている。細田守監督の同名人気アニメ映画を原作に、最強のバケモノと人間の孤独な少年の「親子」が血のつながりを超えて絆を深め、助け合って共に成長する姿を写す話題作だ。チラシのうたい文句「驚天動地」想像を超えたスケール」が決して大げさでなく、斬新でテンポのいい舞台からは一瞬たりとも目が離せない。

### 不可能を可能にーシルクール来日公演「Knitting Peace」

11月26日 愛知県芸術劇場

高橋知伽江(脚本・歌詞)、青木豪(演出)、富貴晴美(作曲・編曲)らが創造力を結集させた作品で、2022年4月に東京で開幕。約11カ月の公演で23万8千人が観劇し、四季オリジナルミュージカルの初演で最長かつ最大の



「サーカス・シルクール」(撮影・Mats Bäcker)

「不可能を可能にする」シルクール」(スウェーデン)もそうだ。

「不可能を可能にする」をテーマに掲げ1995年に創設。以来ストックホルムを拠点に、世界各国で活動を展開するシルクール。今回の上演作品は「ニットイング・ピース」。様々なサイズのロープや巨大な糸玉を用い、5人のパフォーマーがスリリングで幻想的なステージを繰り広げる。

全指定SS席6000円、S席5000円(25歳以下半額)、A席4000円(同)、B席3000円(同)。

大ホールで第21回演奏会を行う。プログラムはモーツァルトの歌劇「後宮からの誘惑」(ソプラノ・板倉歌奈子)と「交響曲第36番」(リッツ・マーラー)の「交響曲第4番」。指揮は同オケ初登場の藤崎奈美。

### スポーツ少年、ギターにのめり込み

ジャンソンの扉

180 遠藤マサキ



「より自分らしく」と遠藤

にイエフダのレッスンを受けた経験がある。また劇中には、インド人として初めて英国ロイヤルパレエ学校に入学した天才パレエ少年アーミル・シャールが登場する。

「それまでのファンも減り、改めて本当に音楽に真剣に向き合うことに

始めた。その後、名古屋に拠点

「音楽には誰かを癒やし、元気づける力がある。聴いた人が元気になれる演奏を見せたい」と話す。

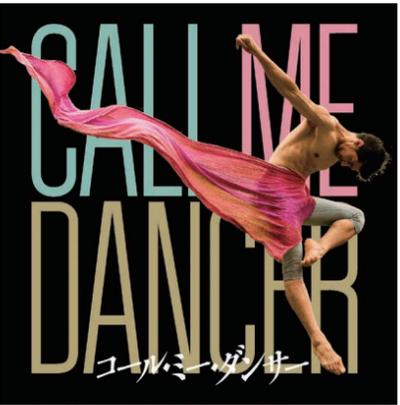
大切な人と心を一つにする優しさや温もりが劇場を潤して心地よい。希望と勇気に満ちた人生賛歌に、「明日も元気に、前向きに生きていこう」と心の底から思えたのである。

歌って踊るインド映画の型破りな魅力はわなじみだが、今秋パレエ&コンテに特化した正統派のドキュメンタリー作品が登場する。ニューヨークで活躍中のインド人ダンサー、マニー・シユ・チャウハンが主演する「コール・ミー・ダンサー」だ。

### 特選！映画

インド人ダンサーのサクセスストーリー

「コール・ミー・ダンサー」11月29日～センチュリーで



コールミーダンサー

18歳のマニー・シユは、映画で見たアクロバティックなダンスに魅了され、ダンサーになることを決意する。スタートは遅かったが、天性の身体能力、米人ダンス教師イエフダからパレエの基礎

礎を叩き込まれたことで、マニー・シユはプロダンサーへの第一歩を踏み出すが…。

マニー・シユの最大の理解者となるイエフダ

はダンサー、指導者として数々の実績を築き、現在もインドでパレエ教師をしている。監督のレスリー・シャンパインは元パレエダンサーで、実際に

11月29日からセンチュリーシネマⅡⅢ052(064)805800で公開。

「音楽には誰かを癒やし、元気づける力がある。聴いた人が元気になれる演奏を見せたい」と話す。

大ホールで第21回演奏会を行う。

プログラムはモーツァルトの歌劇「後宮からの誘惑」(ソプラノ・板倉歌奈子)と「交響曲第36番」(リッツ・マーラー)の「交響曲第4番」。指揮は同オケ初登場の藤崎奈美。

### 現代舞踊の玉田弘子 東・大からダンサーを迎え 12月22日 ちくさ座で 「導かれてここに今」

現代舞踊の詩人玉田弘子が12月22日(午後5時)千種文化小劇場で「導かれてここに今」を開く(入場無料、要整理券)。幼少期から島田豊年、奥田敏子に師事。1985年に「玉田弘子

モダンダンスグループ」を開設し、今日まで指導、公演活動を継続している。年輪とともに精神を解き放ち、侘しさとユーモアを混在させた独特のダンススタイルには定評がある。



玉田弘子モダンダンスグループ

をを迎え、教え子たちとともに多彩なステージを繰り広げる。  
TEL052(764)2067。

### バレエ、モダン踊る神原ゆかり 11月30日・12月1日 北文化で公演

バレエからモダン、舞踏へと活動ジャンルを拡大するダンサー神原ゆかりの写真が「ゆかりバレエ公演」を行う。日時は11月30日(午後6時)と12月1日(午後4時)北文化小劇場。プログラムは生演奏とのコラボレーションによる「融合、朗読を交えた「ハムレット・マシーン」、そして神原ゆかりが演出、振付した長編コンテンポラリー「ラ



「ラヴ&パッション」。

出演ダンサーは神原のほか末原雅広、市橋万樹、牧村直紀、福田晴美ほか。演奏陣は福田展博(ギター)、小笠原綾乃(ピアノ)、井上二倫(和太鼓)、民謡藤栄会ほか。

全自由席3000円。TEL052(503)1446。

### 言葉とダンスが同時進行する妙味

山崎広太

山崎広太とフットノット・ニュージブラント。



「薄い紙、自律のシナプス〜」(撮影・Naoshi HATORI)

ダンスの協同ダンスフロア「薄紙、自律のシナプス、遊牧民、トキョー(する)」が県芸術劇場小ホールで上演された(10月5、6日)。

5人のダンサーは日本語ではない言語で膨大な言葉を発しながら踊り続ける。しかし、ミュージカルのような字幕はなく、テキストはパンフレットとして観客の手に託されている。その言葉とダンスは一致しないまま続いていく。説明なく始めれば、作品理解への不安が生まれかねない形だが、冒頭に舞台上の山崎からダンサーの言葉とダンスが異なるレイヤーを持ちながら同時に進行していくこと、この作品を生んだ自身のダンス観などが語られる。それは、直後のシーンを理解するための入口であり、山崎の言葉とダンスを使ったこの上のない実践だ。観客は山崎の言葉に耳をそばだて、身体の動きに意味を探す。いつしか観客に背を向け、一心に踊り続ける山崎の姿は強く印象に残る。言語の習熟度、テキストを熟読したか否かによって、受け取る情報と感想は大きく変わるだろう。

### 楽器の魅力、演奏を通してアピール

ハンマーダルシマー

キャリア7年の平野明子。幼少からピアノ、学生時代にはバンドを結成しドラムを担当。現在は豊橋市でハンマーダルシマー教室を開設している。

私は以前、中国出身の揚琴奏者と交流があり、幾度も演奏を聴いている。ハンマーダルシマーは(奏法にもよるが)揚琴に比べ、大きく派手な音が出る。平野は「ほとんど知られていないハンマーダルシマーを、一人でも多くの人に知ってほしい」とYOSECONに出演。来場者に試演させたりもした。無料の練習会も豊橋市内で行っている。楽器や教室について問い合わせはホームページ「ハンマーダルシマーAKIKO」で。



岡田利規×酒井はなの前作「瀕死の白鳥 その死の真相」

### 最先端のコンテ4作を上演する「間の時間」

11月30日、12月1日 愛知県芸術劇場

最先端のコンテンポラリーダンスを紹介する「パフォーミングアーツ・セレクション」(主催・愛知県芸術劇場)。今回は11月30日、12月1日(全4回)芸術劇場小ホールで「間(あいだ)の時間」を上演。4組の新作をA、B2つのプログラムで紹介する。

Aプロ(30日午後2時、1日午後1時)は奇才・岡田利規が脚本・演出「酒井はなが踊る「ジゼル」のあらずじ」と、島地保武が演出・振付、島地ほか11人のダンサーが出演する「ダンス・フォー・プレジャー」の2作品。

Bプロ(30日午後5時、1日午後4時)は小暮香帆とハラサオリが共作した「ポスト・ゴースト」と、鈴木竜が演出・振付し岡本優と踊る「T.A.M.A」の2作。

全自由席、一日通し券7000円(25歳以下4000円)、A・B各プロ4500円(同2000円)。TEL052(211)7552。

### 音ペン受賞者3者の名演で魅了



左から日比浩一、秀平雄二、松波千津子

冒頭は、ピアノ原田綾子、シューベルト「リスト」献呈など、リスト「巡礼の年」第3年「からエステ荘の噴水」など。美しいメロデーと、対照的な躍動感ある曲まで、温かな音を響かせた。

次のソプラノ松波千津子は、ヘンデルのオペラアリア、モーツァルトのコンサートアリアで清らかな声を。ヴェルディ「椿姫」のアリア「花から花へ」などでは、ドラマチックな歌唱を聴かせた。共演のヴァイオリニスト日比浩一、ピアノ秀平雄二が寄り添って盛り上げた。後半は、ピアノ武本京子がヴァイオリン、森下麻奈と共演。ベートーヴェン「ヴァイオリン・ソナタ第5番」では安定感と奥行きがあるピアノ、繊細で美しいヴァイオリン

「音環」は10回をもって休演。その最後を飾る充実した内容だった。(上原)



演奏キャリア7年の平野明子

試演させたりもした。無料の練習会も豊橋市内で行っている。楽器や教室について問い合わせはホームページ「ハンマーダルシマーAKIKO」で。

### 音楽回想ひとり語り

〈27〉「ケ・セラ・セラ」

ドリス・デイは知らなくても、彼女の代表曲「ケ・セラ・セラ」は、たいの人が知っているのではないかな。

タイトルは「なるよ」という意味で、元はスペイン語らしい。日本でもペギー葉山らが

歌ってヒット。先のこととは分からない、心配しても仕方がないというニュアンスで、よく使われた。当時流行語大賞があれば選ばれたに違いない。

ドリス・デイは1922年、米オハイオ州シンシナティに生まれた。プなどがある。

明るい歌声と、誰にも好かれる笑顔が魅力で、ラブ・コメディ調の映画「ミュージカルに多く主演した。2019年に97歳で死去。

「ケ・セラ・セラ」をはじめ、彼女の歌は今でも幅広いジャンルの歌手に歌われており、未永く歌い継がれていくだろう。(植田三郎)

1956年映画と共にヒット 日本ではペギー葉山がカバー



ドリス・デイのアルバムジャケット

「ケ・セラ・セラ」を聴き、彼女の歌は今でも幅広いジャンルの歌手に歌われており、未永く歌い継がれていくだろう。(植田三郎)

「音環X」最終回 名古屋音楽ペンクラブ賞の受賞者によるコンサート「音環X」(9月26日・電気文化会館)は、3組の出演者がレベルの高いパフォーマンスで聴衆を魅了した。

歌を通して時代や社会が浮かんだ バリトン近野賢一 ドイツ歌曲をライヴワークにする音楽家・近野賢一(バリトン)が「シューベルトアード」をバリトン、そして愛の



熱唱する近野賢一

「シューベルトアード」をバリトン、そして愛の

歌「(9月28日・HIT OMIホール)を開いた。近野は2016年にシューマン、19年にマラーを特集したリサイタルを行い、22年にはシューベルトの歌曲「冬の旅」で名古屋市民芸術祭を受賞している。

タイトルの「シューベルトアード」とは、シューベルトが親しい友人を招いて行った私的な音楽会とか。今公演は、まさに近野が親しい友人たちをサロンに招き、様々な楽曲を披露した「コンノ・ティアーデ」になった。

当日はベートーヴェンからシューベルト、ブラームス、マーラーら名匠9人の18曲を披露。曲を通して時代や社会が垣間見え、歌唱を通して近野の人間性をうかがうことが出来た。ピアノ伴奏は「2日前に(ドイツから)来日したばかりの」盟友ハダエット・ジェディカーが務めた。強く印象に残ったのはシューベルトの「魔王」と、リストの「愛の夢」。前者では、そのドラマチックな情景が見るよりに浮かび上がった。後者のロマンチックなメロディーには馴染みがあったが、意外に教訓的な歌詞だったことに認識を改めた。良いコンサートだった。

### 作・演出・田尾下哲の発想に脱帽

「革命への行進曲」

作・演出家・田尾下哲の卓越した発想力、構成力に脱帽だ。モーツァルトの名作オペラ「フィガロの結婚」を題材にした田尾下哲の朗読音楽劇「革命への行進曲」(9月12、13日・HITOMIホール)である。

18世紀、君主制社会下のオーストリア。好色、傲慢な領主を、使用人たちが団結して懲らしめる「フィガロの結婚」の上演が認められるはずはない。モーツァルト(河野万史)と台本作家ポンテ(中井伸弥)は、上演許可を得るために宮廷検察官ヘーゲリン(榊原忠美)

### 舞台批評

榊原忠美と奥村育子



「赤と黒のアダージョ」(撮影・水谷友也)

### 群抜いた！ 苅谷夏夏の劇的ステージ



「赤と黒のアダージョ」(撮影・水谷友也)

### 「ダンスパラダイス」

現代舞踊協会中部支部(支部長・野々村明子)の「ダンスパラダイス」が円形劇場で開かれた(9月16日・千種文化小劇場)。観客は至近距離でダンスを見るのが出来るがダンスには「逃げ

歌い、時には俳優としてドラマを構築。奥村育子(スザンナ役)と青木エマ(伯爵夫人役)の端正な口舌が際立った。

2024/2/3 (土)  
ドレスショップアンクレール  
移転&リニューアルOPEN  
上社駅徒歩4分

名古屋市中区東区上社3丁目1902  
☎(052)739-6155  
OPEN 11:00-19:00 定休日・月曜  
※お振込は11:00-17:00

Enclair  
アンクレール

モーツァルトは、台本の削除に応じる代わりに音楽の様式で君主制批判を貫いた。フィガロ(大山大輔)と伯爵(能勢健司)の二重唱では二人が同等であることを主張し、エピソードに用いた

行進曲では庶民の決起を表現したのである。

印象に残ったのは、ヘーゲリンと同化した榊原の名演であり、脚本家・田尾下の深い考察力と洒落な演出である。最後になって

### コール・フレンドズ



指揮者は高谷光信、ピアノは金子葉子

後半は高谷と親交の深い作曲家・首藤健太郎の「声のいのち」(作詞・長月りんどう)、「インタードール」(作詞・金子葉子)委嘱初演、ウクライナの作曲家による合唱曲「キーウの鳥の歌」やピアノ連弾による「シンフォニエッタより序曲」(演奏：北川美晃、金子葉子)、そして意外にも

しまったが、ヘーゲリンの上司(スウィーテン)を演じた俳優・堀田和則の美声と巧者ならではの口舌も素敵だった。

ロシア民謡。高谷は「ウクライナの名曲を一人でも多くの日本人に知ってほしい。ロシア民謡を演奏したのは、音楽に国境はないと

追悼 劇団シアター・ウィークエンドの代表として長年、名古屋の演劇界をリードしてきた松本喜臣(よしおみ)さんが10月15日、83歳で亡くなった。

松本さんはFM愛知でパーソナリティーを務めるなど幅広く活動。気さくな人柄で親しまれた。86年に池下のビル2階にスタジオを開設、自ら演出し出演、妻の東田麻希の台本で多くの演劇人がまた一人旅立った。

物語は、実在した知多の船乗りが長期漂流した数奇な物語でロンドン、シナガポールなど海外公演も行った。

### 松本喜臣さん50周年公演終え世界

松本喜臣さん50周年公演終え世界。物語は、実在した知多の船乗りが長期漂流した数奇な物語でロンドン、シナガポールなど海外公演も行った。

### 私たちは「ナゴヤ劇場ジャーナル」を応援します

- 青山 皆江 神谷久美子 中川 幸作
- 秋田 昌子 北村 哲也 仲条 優理
- 荒川 洋子 工藤寿々弥 夏目 久子
- 飯田 光代 佐藤 典子 名鶴ひとみ
- 伊藤 修 佐野 和美 野々山保治
- 伊藤 敬 澤脇 達晴 野村 祐子
- 伊藤 直樹 白樺 八青 服部 節子
- 稲垣 舞比まこと 花咲 市岡
- 今村 早如 杉江 瑠美 花柳 馨優
- 内田 寿菊 鈴木 幾子 林 雅仁
- 内田 寿千代 鈴木久美子 福井 啓子
- 内田 寿晴 鈴木 文雄 瀧本晴都子
- 内田のり子 須山 仁美 松波千津子
- 内田のり美 角田真優美 松本 道子
- 大寺 資二 高倉 麻耶 見波 紀子
- 岡田 一男 武市 孝三 宮西 圭子
- 岡崎 保彦 竹元まき子 山口 雅子
- 小倉ひろこ 田淵友佳理 吉田 尚弘
- 小野由加利 玉田 弘子 よしみゆうこ
- 加藤 静子 つつみあつき 渡部 千枝
- 金澤 志保 手塚 淑子 ほか
- 蟹江 尾八 戸田美江子

### 明快な構成と流麗な展開で活写



「海賊」(撮影・和光写真)

「海賊」は須山仁美の構成・振付。様々なバリエーションや男性ダンスの勇壮な踊り、幻想美の花園などの見せ場を、明快な構成と流麗な展開で活写した秀作である。色彩感豊かな衣装や照明に加え、ダイナミックな背景画の

### 須山仁美「海賊」

富む演目を並べた「須山仁美クラシックバレエ定期公演2024」(9月29日・名古屋文理大学文

た「インプレッション」おもしろいひびきがあるが興味を引いた。毒性のある彼岸花を題材に作舞(服部由香里)したようだが、その意図までは理解できなかった。しかし理解できないのが現代舞踊の魅力でもある。圧倒的なダンス力、振

付・演出で群を抜いたのはラストに登場した苅谷夏夏のソロダンス「赤と黒のアダージョ」(振付・苅谷夏)だ。ナイフで細密な動きに見とれているうちに、ある想像が浮かんだ。苅谷は、いま逆境にある盟友の復活を願って踊っている

のではなか。あまりにもドラマチックで情感のこもったダンスだった。メンタルとテクニックを併せて優れた演出が合致すると、ダンス芸術はここまで昇華する。それを実感した名舞台だった。

数々もだいたい味を拡大させた。出演陣は役の個性を伸ばすのに、パワフルに表現して輝きを放つ。メドローの伊勢直美はしなやかに優美。グルナラの林愛花やスルメアの岩

本末里は力強さの中に艶っぽさも映えた。男性ゲスト陣も確かなサポートで貢献。正統的なコンラッドの高宮直秀は端正だし、精悍なリアの水城卓哉は超絶技巧が光った。市橋万樹や中

追悼 劇団シアター・ウィークエンドの代表として長年、名古屋の演劇界をリードしてきた松本喜臣(よしおみ)さんが10月15日、83歳で亡くなった。

松本さんはFM愛知でパーソナリティーを務めるなど幅広く活動。気さくな人柄で親しまれた。86年に池下のビル2階にスタジオを開設、自ら演出し出演、妻の東田麻希の台本で多くの演劇人がまた一人旅立った。

「キミを愛した 偽りなきときに、悔いはない」  
青年は、なぜ「回天」に乗ったのか  
ミュージカル  
**キミのために散る**  
2024

原作・作詞：あおい英斗  
作曲・編曲・指揮：宗川論理夫  
上演台本・演出：田尾下哲  
振付：名鶴ひとみ

2024年12月  
1回目 6日 金 18:30開演  
2回目 7日 日 15:00開演

会場：メニコン シアターAoi  
愛知県名古屋市中区葵三丁目21-19  
Menicon Theater Aoi Bld.内

チケット料金(税込) [全席指定]  
一般 前売 6,000円/当日 6,500円  
高校生以下 3,000円(前売り・当日ともに)  
※高校生以下は当日証明書をご提示ください ※未就学のお子様  
の入場はご遠慮ください。 ※売り切れの場合、当日券はありません。  
※公演ごとに出演者が異なります。

主催：株式会社マミ、日本新作ミュージカル制作委員会 後援：名古屋市教育局、公益財団法人名古屋文化振興事業団  
制作：メニコンビジネスアシスト(MBA) イベント・クリエーション部

メニコンビジネスアシスト(MBA) イベント・クリエーション部  
Tel.052-935-1630 受付時間 平日10:00~18:00

会員募集  
「ナゴヤ劇場ジャーナル」では発行をご支援いただけるサポート会員を募集しています。会費は年間6600円(税込み)。会員には小紙を毎月お届けするほか、紙面に名前を掲載(希望者のみ)。会員の関係する公演、イベント情報を優先的に掲載させていただきます。

【お申し込み、お問い合わせ】  
㈱マネージメント・プロ  
TEL 052(508)5095  
郵便振替口座 00880-6-206130

和光写真/衛テス・大阪/映三光/Hide Dance Lab./衛ビデオ映社/松岡伶子バレエ団/エス・エー企画/Office KAN NORIKO BALLET STUDIO/かやの芸術舞踊学園/春日井市日本舞踊協会/メリー・アーティスト/カンパニー/関山スタジオ 特定非営利活動法人日本室内楽アカデミー 理事長 佐々木伊予子/ミュージカルアカデミー-KAO/(一社)復曲能を観る会 フィルハーモニー・ウィーン/名古屋/明珠会 山村菜乃/川島ナナバレエ研究所/スマイル・ミュージカル・アカデミー Rose Ballet Academy/越智インターナショナルバレエ/Rrバレエスタジオ 杉江瑠美/一般社団法人イタリア音楽振興会

加藤佳代子ピアノ CD発売記念コンサート

### Time & Fate 時と巡る

リットと歌で語り継がれた無数の小宇宙

2024年12月5日(土) 13:30開演  
2024年12月7日(日) 14:00開演

佐々木利子&N響メンバーによる  
ピアノ五重奏曲2曲

2024年12月7日(日) 14:00開演

世界的クリスマス

### フィルハーモニーモニクス

Philharmonia New-Orleans

上原宏の  
☆音楽☆  
聴き歩き



女声アンサンブル「クレメンツ」の第6回演奏会  
(9月16日・HITOM Iホール)タイトル『私のお気に入り』は、ミュー

演奏六重奏によるクリスマスコンサート

### 古澤巖

愛のクリスマス 2024

ロシア民謡万華鏡 2024

大同特殊 名演奏家シリーズ 2024

### 田所光之

マルセル

ピアノ石川馨栄子のラヴェル全曲演奏会(全2回)の第2回(9月28日・電気文化会館)は、いろいろな舞曲が並んだ。「古風なメヌエット」などの後、前半のメイン「クープランの墓。第一次大戦で戦死した友人を追

ピアノ石川馨栄子  
ソプラノ 眞美子、堀田裕子、メゾソプラノ 村洋子、佐藤綾音の4人。前半はミュージカルの舞台ザルツブルグつながりでモーツァルトの歌曲。後半が「ドレミの歌」ひとりぼっちの羊飼いの「エーデルワイス」

伸した18世紀フランスの古典的組曲。さまざまな6曲をストレートに心地よく聴かせた。後半の最初は「グロテスクなセレナーデ」。タイトルは「心ではない」

4人の歌唱、金田紗希のピアノは定評があるが、衣装や演出の工夫が大いに舞台を盛り上げることを痛感した。

MUSICA NUOVA

### JAPERÀ with DIVA

千住 真理子  
クリスマスディナー  
コンサート2024

和楽器でメリクリスマス



大編成作品も巧みな編曲で達成  
ヴィオラッシモ  
名古屋フィルハーモニー交響楽団のヴィオラ奏者に「VIOLOSSIMO」(ヴィオラッシモ)の第9回公演(9月9日・電気文化会館)名古屋は3年ぶり、7回目。

首席の石橋直子、叶澤や、グノー「マリオネットの葬送行進曲」、ラヴェル「クープランの墓」は、ヴィオラという楽器の特徴を生かし、静かで美しい音を響かせた。一方、デュカスの交響詩「魔法使いの弟子」では、大編成のオーケストラ作品をヴィオラだけで聴かせる難題に挑戦。吉田浩司の巧みな編曲でクリアした。

尚子ら9人。シャブリエの狂詩曲「スペイン」など、今回はフランスとスペインの作曲家を集めた。

ミュージカルの人気曲で楽しく  
「サウンド・オブ・ミュージック」の人気曲から。

すべての山に登れなどミュージカル曲集。名曲ぞろい、それだけでも楽しめる。

が、ユニークで新鮮。高雅で感傷的なワルツは短い7曲の連作で、一つの物語を聴かせるように

音の流れを表現した。最後は極め付けの「ラ・ヴァルス」。華やかなヴィーンの宮廷舞踏会

者全員で演奏する珍しさだけでなく、家族的なまとまりの良さも魅力だ。

を思わせるワルツの決定版。持ち前の強めのタッチで、鮮やかなピアノイズムを披露した。

豊田自動織機 Presents  
Charity Concert 2024

# 尾高 忠明

# 宮田 大

指揮 チェロ

2024.12.18(水)  
18:45開演(18:00開場)

愛知県芸術劇場  
コンサートホール

PROGRAM  
エルガー 行進曲「威風堂々」第1番  
チェロ協奏曲  
エニゲマ変奏曲

管弦楽  
名古屋フィルハーモニー交響楽団

チケット 7,000円 S席 5,000円 A席 4,000円 B席 3,000円(全席指定・税込)

9/21(土)10:00〜一般発売開始

主催：株式会社 豊田自動織機 お問い合わせ：クラシック名古屋 ☎ 052-678-5310

戸澤 采紀  
ピアニッシモ

2024.11.30(土)  
14:00開演(13:30開場)

ザコンサートホール

Fumiya Koido Piano Recital

小井土 文哉  
ピアニッシモ

2024.12.2(月)  
19:00開演(18:30開場)

ザコンサートホール

Saki Tozawa Violin Recital

ニューイヤー・コンサート2025  
ウィーン・フォルクスオーバー 交響楽団

2025年1月19日(日) 15:00開演

愛知県芸術劇場コンサートホール

三浦一馬 五重奏  
NEW YEAR CONCERT

2025年1月19日(日) 15:00開演

愛知県芸術劇場コンサートホール

奏でる人を聴きたい人へ 人と音を結ぶ

## クラシック名古屋

052-678-5310

金山総合駅 南口より徒歩3分

名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル1F

クラシックコンサートのチケットは

## アイ・チケット 0570-00-5310

(11:00~16:00 ※土日祝休)

アイ・チケット web 検索

お好きな時間にお好きな席を選んでクリック♪

クラシック名古屋のプレイガイド  
「アイ・チケット」

多くのクラシックコンサートのチケット販売から、ホール、座席のこまごまオペレーターが丁寧に対応いたします。

ホームページからもチケット購入ができる、便利なクラシック専門のプレイガイドです。